



遠野まつり

日本のふるさと

取材協力／遠野緑峰高校K サポ

「日本のふるさと遠野まつり」(同実行委員会主催)は9月15・16の両日、遠野駅前通り周辺と遠野郷八幡宮境内で行われました。今年延べ3万5千人が参加し、郷土芸能の継承活動の成果を堂々と披露。色鮮やかな衣装と艶やかな踊りが、秋を感じる遠野郷を彩りました。

1_初日は中心市街地が会場。各神楽団体の猿田彦を先頭にパレード開始 2_待ちに待った祭に、参加者から笑顔があふれた 3_凛とした舞で魅了した南部ばやし 4_南部ばやしの山車などから「神々の恵み」として餅がまかれた 5_市役所本庁舎の玄関前で夜神楽を開催。幻想的な舞が繰り広げられた 6_2日目は遠野郷八幡宮で開催。やぶさめでは人馬一体の妙技に、観客から大きな拍手と歓声を送られた

7_艶やかに踊る山口ささ 8_勇壮なしし踊りは遠野まつりの目玉の1つ! 9_威勢のいい掛け声でまつりを盛り上げた神輿 10_友好都市・宮崎県西米良村に伝わる村所神楽が神楽殿で舞を奉納 11_遠野唯一の虎舞として暮坪集落に伝承されてきた暮坪虎舞 12_馬場めぐりは郷土芸能団体にとって晴れの舞台。約200坪の馬場を練り歩き、郷土芸能を披露した

